

神室岳/小又山/火打岳縦走 (やまがた)

東北の山並みでもめずらしい氷食によって削り取られて急峻な尾根が続く神室連峰ハイライト周囲朝夕は肌寒くなり稜線は秋の色付く季節、心に残る山歩きとなるでしょう。

参加費 ¥14,000

日時 2012年 9月29日(土)30日(日)

山城 秋田県秋田市

山名 かむろだけ

標高 1365m

標高差 登り 750m 1日目

山名 こまたやま

標高 1366m

標高差 登り 400m 下り 410m 2日目

山名 ひうちだけ

標高 1237m

標高差 登り 315m 下り 1325m 2日目

集合場所 ゆうゆう館 5:30集合 5:40出発
地下鉄泉中央駅 6:00集合 6:10出発

行程

29日 仙台 === 新庄市 === 土内登山口 ——— 雷滝 ——— C1050 ——— C1150
6:10発 9:00着 1:30 1:50 1:00
————— C1059 ——— 神室岳山頂
0:40 1:00

30日 神室岳山頂 ——— 天狗森 ——— 小又山 ——— 砂利押沢分岐 ——— 火打岳 ———
7:00発 1:10 0:40 1:00 0:40 1:50
土内登山口 === 新庄市 === 仙台
18:00着

※ 台風時期到来で天候が危ぶまれる場合は事前に中止することがあります。

悪天行動

強風、有視界行動が取れない場合、安全な気象条件が確保出来ない場合は行動を見合わせるか、即刻行動を中止し引き返すものとする。山頂泊で悪天の場合は登りのコースを引き返すものとする。

個人装備

【身に付ける物】

ウインドブレーカー(ヤッケ):チョット肌寒い時に、レインウェア(ゴアが望ましい):ガスや風雨の時に、靴下:クッション性と吸汗で快適に、ズボン(ストレッチ系):活動的な動きを妨げない、速乾シャツ:汗を処理してポディーコントロール、ベスト:袖がなく脇が空いているのでかなり快適、手袋:紫外線や手の保護に、帽子:紫外線や熱中症予防に、スパッツ:足元裁きや汚れ防止に。

【携行する物】

お水:十分な水分補給の為に、魔法瓶:冷えた体に熱分補給(ほっと一杯)、昼食(14日):山の楽しみお弁当、行動食:いつでもどこでもエネルギー補給(大好きな食べやすいもの)、ホイッスル:いつ何時の合図に、ヘッドランプ:万が一の時のお守りとして、ストック:歩行の補助に、地図(2万5千)現在地確認、腕時計:行動時間の把握に、タオル:一汗をぬく用、カヌー:思い出の1枚を、医薬品:切り傷擦り傷虫刺され足づり非常セット:レスキューシートや携帯コンロ、ツェルトなど、お風呂セット:下山後に、保健証(写し)、他。アタックザック:50~60L、シュラフ、マット、食器:椀/2、皿/1、カップ/1、武器:箸、スプーン、ウオーターパック:

※参加者へは登山計画書として山行前に別紙送付いたします。

回縦走。

ノ菜も、

2L(炊事用)

